

平成 25年 2月 12日

各 位

上場会社名 株式会社ネクスト
 代表者名 代表取締役社長 井上 高志
 (コード番号 2120 東証第一部)
 問合せ先 取締役執行役員管理本部長 浜矢 浩吉
 (TEL 03-5783-3603)

通期業績予想及び配当予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年2月12日開催の当社取締役会において、平成24年5月9日に発表した平成25年3月期通期業績（平成24年4月1日～平成25年3月31日）及び1株当たり配当予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

また、第3四半期連結累計期間（第3四半期）において下記の通り特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成25年3月期通期業績予想の修正

(1) 連結業績（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,332	535	447	215	11.47
今回修正予想 (B)	11,859	1,447	1,416	718	38.29
増減額 (B-A)	+1,527	+912	+968	+503	—
増減率 (%)	+14.8	+170.4	+216.3	+233.9	—
(参考) 前年同期実績	10,319	952	982	465	24.83

(2) 個別業績（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,840	431	247	13.19
今回修正予想 (B)	11,365	1,331	688	36.65
増減額 (B-A)	+1,524	+900	+440	—
増減率 (%)	+15.5	+208.8	+178.0	—
(参考) 前年同期実績	9,920	881	415	22.16

2. 業績予想修正の主な要因

(1) 連結

[売上高について]

当期のセグメント毎の連結売上高業績予想数値は以下のとおりです。

セグメント別売上高比較	不動産情報 サービス事業	地域情報 サービス事業	その他事業
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	10,175	49	107
今回修正予想 (B)	11,754	20	84
増減額 (B-A)	+1,579	△28	△23
増減率 (%)	+15.5	△58.0	△22.0
(参考) 前年同期実績	10,222	30	67

平成24年10月19日発表の「第2四半期連結累計期間業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、売上高は不動産情報サービス事業を中心に期初予想を上回るペースで進捗していたものの、当時、主要サービスである「HOME'S賃貸・不動産売買」は平成24年10月以降順次サイトのリニューアルを実施する予定であり、リニューアル後の一定期間は一時的にサイト利用者数が減少し、売上高が低下する懸念があったことや、繁忙期が含まれる下期の業績は変動要因が大きいことから通期業績予想は据え置いておりました。

しかしながら、リニューアル後のサイト利用者の減少は見られず、Google等の各種検索サイト上の検索結果において、「不動産」「マンション」等の各種キーワードの順位が大幅に上昇していることから、サイト利用者数や問合せ数が増加し売上高も好調に推移しております。

また、足元の状況においても引越シーズンである1月以降、TVCMや交通広告、WEBキャンペーン等積極的かつ複合的なプロモーション活動等の効果により、前年同月を上回るペースでサイト利用者や問合せ数が増加しております。その結果、通期の売上高を11,859百万円(対前回予想比+1,527百万円、+14.8%)に修正いたします。これにより過去最高売上高であった10,779百万円も大幅に上回る見込みとなっております。

[利益について]

利益面では、前述のとおり、連結売上高は業績予想を上回る見込みであるため、今期及び来期以降の売上高の押し上げ効果を狙い、TVCMや交通広告、WEB集客費用へ再投資していく見込みです。これによる広告宣伝費等の費用の増加により、通期の販売管理費は10,033百万円(対予想比+590百万円、+6.3%)となる見込みであり、後述の特別損失の計上を加味した結果、営業利益を1,447百万円(同+912百万円、+170.4%)、経常利益を1,416百万円(同+968百万円、+216.3%)、当期純利益を718百万円(同+503百万円、+233.9%)に修正いたします。

(2) 個別

個別業績予想については、上記の連結業績予想と同様の要因により、通期の個別業績は売上高11,365百万円(対予想比+1,524百万円、+15.5%)、経常利益1,331百万円(対予想比+900百万円、+208.8%)、当期純利益688百万円(同+440百万円、+178.0%)に修正いたします。

3. 特別損失の計上について

(1) 金額について

第3四半期にて、特別損失に投資有価証券評価損として連結・個別共に134百万円を計上いたします。

(2) 発生の要因について

平成23年12月より、中華民国（台湾）にて不動産・住宅情報サイト「楽屋網」を運営する楽屋国際資訊社（英語名：Rakuya International Info. Co. Ltd.）と資本提携（持株比率12.2%）をしておりますが、同社の事業進捗が当初のもくろみより遅れていることから、同社の株式について投資有価証券評価損を計上いたしました。

4. 配当予想の修正について

	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 （平成24年5月9日）	—	1.70	1.70
今回修正予想	0.00	5.70	5.70
当期実績	0.00		
前期実績 （平成24年3月期）	0.00	3.70	3.70

5. 配当予想修正の主な要因

当社の配当金は、中長期的な事業計画等を勘案して、毎期の業績に応じた弾力的な成果の配分を行うことを基本方針としております。当期においては前期同様、連結当期純利益の15%を配当性向の目途にさせていただく予定です。

これに伴い、上記業績予想の修正後の連結当期純利益に基づき、平成25年3月期年間の配当予想金額を検討した結果、1株当たりの予想金額を4.00円増額し、5.70円といたします。

なお、本件は今後様々な要因によって上記予想と異なる結果となる可能性があります。その際は随時配当性向15%程度にあたる1株当たり配当予想金額の再検討を行い、速やかに開示させていただきます。

(注)業績予想に関する留意事項

上記の予想は、現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に関する仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因により上記の予想とは異なる可能性があります。

以 上